

犬山市の**高齢者**が抱える**生活上の問題**とは？ ①

要支援と要介護のスキマで困る 自宅での**入浴不安**

歩行や立ち上がりなどの日常動作は
問題ないけども…

- ・浴室の濡れた床に転びそうで怖い…
- ・浴槽の段差を跨ぐのが怖い…
- ・頭や背中を洗いづらくなって、億劫になる…



身体機能が維持
できていても…
入浴に関する
介護の**需要増↑**

介護保険制度上のジレンマ

要支援1

要支援2

要介護1

要介護2～

身体介護の**認否ライン**

浴場の介助は、一般的に身体に触れて直接介護する**身体介護**と見做される
…が、

身体介護は要介護1からしか原則認められていないため、要支援2までの介護認定結果だと、
入浴に関する介護(身体介護)を受けることができない。



犬山市の**高齢者**が抱える**生活上の問題**とは？ ①

高齢者の**カラダ**と**ココロ**の乖離

身体機能がある程度保たれている状態であれば
自分でできることは自分で行ってもらう(要支援認定)ことが望ましい。

- 一方で・昔よりも思ったように身体を動かさなくて情けない…
- ・誰かに見てもらっていないと、何かあったらどうしよう…

心理的な**不安**や身体の**衰え**の自覚により
自宅での一人での入浴に消極的になる市内高齢者を
地域のケアマネジャーが把握。
自分の力で入浴ができなくなることは、**自尊心を大きく傷つける**につながる。

身体機能(**カラダ**)よりも先に、気持ち(**ココロ**)が入浴の妨げになっている高齢者のために、
犬山市として既存のサービスではできない形で応援できないか？



犬山市の高齢者が抱える生活上の問題とは？ ②

男性高齢者の引きこもり問題

男性高齢者は女性高齢者と比較して、デイサービスや地域の集いの場への参加に対して消極的であることから社会から孤立しがちになっている。

⇒地域のケアマネジャーが外出を推奨しても中々気乗りしてくれず、外出に繋がらないとの意見有



POINT

そんな中で女性高齢者よりも男性高齢者の方が利用比率が高い市営事業が…

男性:女性の利用比率 2.3 : 1 !!
(令和7年5月～8月の利用実績)

男性高齢者13,562人女性高齢者5,936人



inuYama

犬山市の高齢者が抱える生活上の問題とは？ ②

男性高齢者もお風呂は好き！

誰かに関わり、新しい**交友関係**を築く。それはとても大事なことです…
そういうことが**苦手**な高齢者も存在します。特に**男性**に。
お風呂にただ**入る**だけ、そんな目的がはっきりしていて、余分に人と関わらないのが**ちょうどいい**。

高齢者の**趣味・趣向**が多様化していく中で、既存のサロン事業等はちょっと合わない高齢者(特に男性)をターゲットとした犬山市独自事業として、**お風呂**を活用した事業ができるのではないかと。



入浴訓練事業の検討

1. 事業の目的

自宅での入浴に際して、転倒等に不安を覚え、入浴をしなくなる(できなくなる)高齢者の方たちへの入浴訓練教室を開催することで犬山市の高齢者がより長く、より安心して自宅でお風呂に入れるようにする。

2. 訓練の内容案

案① 脱衣・着衣動作訓練

上肢や下肢の可動域を広げるストレッチの訓練を実施し、脱衣・着衣の動作がスムーズになるようにする。

案② 洗身・洗髪訓練

タオルを使った洗身動作(タオル体操)を行うことで適切な洗身を行えるようにする。また、洗髪訓練においてはシャワーチェアを導入することで、介護用品を使って自分でできる洗髪動作が広がることも経験してもらう。

案③ 入浴訓練

浴槽に入る際、出る際の段差の跨ぎ動作を行う。さらさらの湯は通常の自宅の浴槽に比べ段差の高さが低いため、安全に動作の訓練ができる。

また浴槽内に手すりを設置することで、掴まり立ちで浴槽から立ち上がる訓練を行う。

…等を想定していますが、高齢者の方たちにとって効果的な訓練内容にしたいと考えております。

3. その他検討したい内容

- ・訓練の規模(個別訓練、2~5人程度のグループ訓練、5人以上の集団訓練)
 - ・開催曜日や時間 どの曜日、どの時間なら参加しやすいか
 - ・入浴訓練とセットで実施すればよいと思われる事業はなにか。
- ⇒市内の高齢者が利用しやすい、引いては介護事業所の皆さんが繋ぎやすい事業を目指します。

